



近代仙台研究会

第9回発表会

近代の仙台を中心とした建築、工芸、歴史、文化に対する理解と研鑽を深める研究会を2016年(H28)1月に立ち上げました。この度第9回目の「発表会」を下記のように開催致します。

戦前、戦後の仙台をご存知の先輩方や、関心をもって研究されている方々の成果の発表を通し、多世代との交流を図りながら未来へと継承していきたいと思えます。興味のある方々のご参加をお願い致します。

会長 大沼正寛

明治生命保険株式会社仙台支店

本建築は明治41年(1908年)に曾彌達藏と中條一郎が共同で設立した、戦前建築の最高峰と称される「曾彌中條建築設計事務所」の設計で大正9年に2年2ヶ月をかけて完成しました。

構造は地下1階をもつ3階建てで、赤煉瓦の壁に御影石(花崗岩)を張ったロマネスク様式の荘厳なつくりで石造建築の傑作といわれ市民にも親しまれましたが、昭和52年(1977年)6月惜しまれながら解体されました。

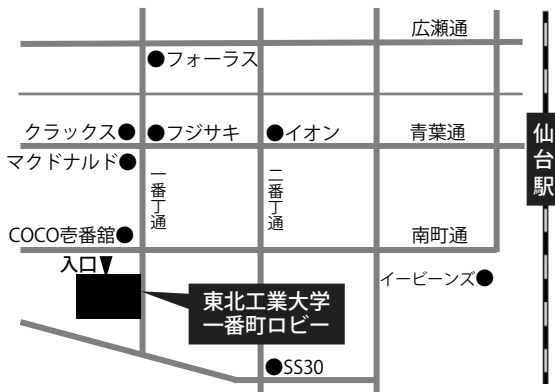
この場所には現在、藤崎リビング館が建っています。
小野寺純一(会員・画家)



日時 2024年(令和6年)2月17日(土)

午後1:00~5:00 (0:30開場)

場所 東北工業大学一番町ロビー
2Fホール(仙台市青葉区一番町1-3-1)



参加 メールでの事前申込みをお願いします
(定員50名・¥切=2/10(土))

資料代 1,000円(発表内容の報告書。必要) の方は当日お求め下さい



近代仙台研究会

メール koukogen@ab.auone-net.jp
HP <http://kindaisendai.com/>

問合せ 090-4633-9570

発表テーマ (仮称) ・1人9分で9名が発表します。

開会挨拶 1:00pm~

■第1部 生活文化と記憶 1:05~1:47 (司会・庄子喜隆)
令和5年の仙台市西公園のこけし塔のお色直し
「仙台ユネスコ協力会」設立~中心人物「上田康一氏」の活動~
北上夜曲の真実—仙台から全国へ—

ディスカッション

■第2部 戦前・戦後の動き 1:57~2:53 (司会・庄子喜子)
金友高史 青葉女学院の沿革と使命—明治期から昭和初期のキリスト教系保育者養成—
伊藤正浩 「野球の試合前挨拶発祥の地」記念碑が建つまで
三上満良 連句と俳石の同人誌『遊』(1954~64刊)の俳石版画について

ディスカッション

■第3部 都市造営のあゆみ 3:03~3:59 (司会・大和晴彦)
木村紀夫 なぜ幻に! 野蒜築港
斎藤広通 明治18年建築の仙台区役所庁舎について
大沼正寛 塩竈石の岩蔵と露頭—戦前期の仙塩地域開発の景観素描

ディスカッション

■第4部 特別講演 4:15~5:00



結城玲子氏(山形歴史たても研究会 代表)
「山形県の歴史的建造物と保存活用について」

閉会挨拶・諸連絡 5:01~5:10